

月刊
さわやか

第22号
平成21年2月15日

《発行》
(社)日野市シルバー
人材センター
日野市日野本町2-4-7
0421581-8171

宇部市SC代表、当センター訪問

安全就業、会員増強、接遇研修を視察

山口県の宇部市シルバー人材センター（SC）の代表、今井信之理事長をはじめ10名の方々（うち女性2名）が2月5日、当センターを訪問されました。当センターの安全就業、会員増強、接遇研修などの取り組みを視察するためです。

この訪問はそもそも、昨年11月実施された全シ協（全国シルバー人材センター事業協会）主催の安全・適正就業パトロール指導員研修で、当センターが安全就業の事例発表をしたのがきっかけ。これに参加していた宇部市SC代表が当センターの発表に関心を持たれたわけです。宇部市SC代表の訪問に対し当センターでは、井口会長、北村副会長、池田常務理事、伊藤安全管理委員長、高木総務部会



宇部市SC代表の方々

長、今井事業部会長、渡辺広報部会長が応対しました。まず井口会長が歓迎の挨拶で「両市の人口、SC会員数はほぼ同じですが、女性会員数ではかなわない（宇部32%、日野23%）」とのべました。

会員数

平成20年12月31日

1,641名
男性 1,255名
女性 386名
入会者数
12月 19名
(男14名、女5名)
但し、退会者 16名

次いで今井理事長が挨拶し、宇部市は石炭産業で早くから開け（大正10年市制）、宇部市SCは山口県下初のSC（昭和55年設立）と紹介。「ただし安全就業では問題があり、昨年度は19件の傷害事故が起き、うち2件は死亡事故でした。ぜひ日野市SCに学びたい」と、視察訪問の動機を語りました。

第1のテーマ、安全就業について伊藤安全管理委員長が説明に立ち、事前に製作したビデオを上映。その中で「チャレンジ目標を定め、事故『ゼロ』をめざす」取り組みをさまざまな事例で紹介しました。（4面参照）

続いて高木部会長が会員増強、接遇研修、提案型事業等について、今井部会長が職群班の活動等について説明しました。

人事往来

事務局の嘱託職員として川口麻里恵さんが2月1日付で採用されました。

会員募集チラシを自治会で回覧 昨年10月来2度目

会員増強策の新しい試みとして昨年10月、市内40カ所の自治会に特別にお願いをして、会員募集用のチラシを回覧していただきました。これらの自治会は、会長さんが会員など当センター関係者の方々でした。

今回はその第2弾として、当センターが会長さんと知り合いの自治会を対象に、回覧をお願いして回る取り組みで、2月9日から開始しています。

第57回定期総会

日時：平成21年3月25日(水) 午前10時～
場所：七生公会堂

- 議題：(1)平成20年度一般会計補正予算(案)
(2)平成21年度事業計画(案)
(3)平成21年度一般会計予算(案)
(4)第四次中期計画(案)

第2部アトラクションは「大正琴」の演奏。

日野市財政の緊急対策について

会員皆様のご理解・ご協力をお願いします

日野市シルバー人材センター会長 井口 義雄

日野市長より、金融危機に対する日野市の財政状況および財政対策について、次のような文書をいただきました。

「文書抜粋」

日野市では、平成21年度予算に係る編成作業を進めておりますが、世界的な金融危機に端を発する景気後退により、全国的に企業収益・雇用状況は大きな打撃を受けており、東京一の製造品出荷額等を誇る日野市の法人市民税等も大幅減収となることは確実であり、大変厳しい財政状況です。

このため、日野市では

- ・「(仮称)市民の森ふれあいホール建設工事(総事業費約25億円)」の当面の間休止

・市長等の給料月額額の減額

・職員給料等の引き下げについて職員組合と調整中

・人件費抑制のため勤務体制や業務内容の精査による縮減

・施設管理委託料等の仕様の見直し及び中断等々

経費の削減を積極的に実施し、市役所一丸となって取り組んでおります。



この結果、シルバー人材センターで受注している「委託業務」やセンターで受けている「補助金」などに大きな影響が出てくるものと考えられます。

平成21年度の公的業務については、20年度と比較して大きな削減が予想されますので、会員の皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

第5回地域班長会議

第四次中期計画(案)を提示

第5回地域班長会議が1月15日、生活・保健センターで開催されました。今会議では、かねて準備中であつた第四次中期計画(平成21～23年)(案)が提示され、計画策定委員長の安藤理事が説明しました。同計画(案)はまず地域班長、次いで全会員の検討に委ねられ、きたる3月25日の第57回定期総会で採決に付されます。

計画(案)では、数値目標として会員数1800人、契約金額7億円、就業率85%をめざしています。事業目標の特徴は独自事業(3面参照)の増強で、現収入の6割増を図ります。

「地域班長だより」で協力依頼

地域班長会議ではほかに、「月刊さわやか」にコラム「地域班長だより」を新設する企画が紹介され、地域班長に持ち回りで執筆していただくよう協力依頼がありました。「地域班長だより」は新年度から開始する予定です。

理事会二ニュース

第11回理事会 1月30日

・審議事項 正会員の入会、第四次中期計画(案)、平成21年度事業計画(案)、職員給与規定の一部改正、専門部会設置要綱の一部改正

・報告事項 日野市財政の緊急対策について、リサイクル事務所「会議室」の有効活用等について、12月事業実績、各専門部会・安全管理委員会の活動報告

「センター」行事日程

2月19日(木) 第6回自動車運転ライセンス講習会 多摩コース

3月2日(月) 第七ブロック理事勉強会 平山交流センター

秋の地域班会議

平均出席率は44.2%(春は44%)

配分金の支払日

- 2月20日(金)
- 3月19日(木)
- 4月20日(月)
- 5月20日(水)
- 6月19日(金)
- 7月17日(金)
- 8月20日(木)

専門部会員を 募集します

平成21年度日野市シルバー人材センターの専門部会員（総務部会、事業部会、広報部会）を左記のとおり募集します。

記

- 1 募集人員：各部会若干名
 - 2 任期：1年（平成21年4月1日～22年3月31日）
 - 3 応募方法：希望する部会のレポート課題を6000字程度でまとめ、2月末までに事務局に提出してください。
レポート課題
 - 4 選考：3月上旬に選考の上、決定通知します。
- ・総務部会⇨会員増強の方策について
 - ・事業部会⇨就業マナーの向上について
 - ・広報部会⇨センターのPRについて

「生き生きカルチャー教室」のご案内

4月開講、8教室分

講座期間 平成21年4月～同年9月（半年間）

- 講座名（カッコ内は開催日）
- * 囲碁教室（土曜日）
 - * エッセイ教室（土曜日）
 - * 鉛筆スケッチ画教室（水）
 - * 写真教室（土曜日）
 - * 毛筆書・筆ペン書教室（土）
 - * 着付け教室（土曜日）
 - * 創作紙粘土人形教室（木曜日）⇨新規
 - * 英会話教室（火曜日）⇨新規
- お申込み 3月9日（月）～13日（金）に事務局にて電話受付（先着順）。

（担当・山口）

着付けグループ会員募集

すみれ着付けグループは「出張着付け」や「着付け教室」をおこなっております。このたび左記の要領で、グループ会員を募集します。

【応募条件】日程に余裕があり、着付け経験のある方

【申し込み】2月27日（金）までに事務局にお電話下さい。後日選考をおこないます。

（実際に着付けをしていただきます）

日野市シルバー人材センター設立30周年記念

第4回 生きがいフォーラム

平成21年3月7日（土）午後1時～3時半 生活・保健センター 3階集会室

講演：望月照彦氏（多摩大学大学院教授）

演題：「シルバー世代の生きがいと社会的役割」

アトラクション：ギター演奏 日野市ギター・サークル

会員発表「私のシルバー体験」..... 渋谷善子さん（東平山班）、八田和之さん（南平3班）

今回は、会員の方々もぜひご来場ください！

ローテーション就業 の見直し 設置要綱改定

前号「理事会ニュース」に「仕事別（職場）グループ設置等の一部改正」の項目がありました。改正の主眼は、従来の設置要綱では職場グループの条件に「複数の会員がローテーション就業していること」とあるを改め、「ローテーション」を削除したこと。ローテーション就業は平成7年に導入されましたが、現在、その見直しが必要になっていきます。（詳細は次号）

それってなに？

独自事業、自主事業

当センターの事業のうち、受注先が公共部門でも民間企業でもない、センターが独自におこなっている事業を独自事業といえます。主要なものは、植木班、清掃班、リサイクル班、手芸班、草取班、草刈班、パソコン班の7職群班から成っています。それ以外のやや規模の小さいものを自主事業と呼び、各種の教室事業や刃物研ぎ・山野草・紙すきグループ等があります。自主事業も独自事業の一部です。



街路樹の剪定作業

街路樹剪定作業をビデオ撮影 植木班「歩行者ありまーす」と声かけ合う

2月2日早朝、多摩平5、6丁目の境界道路で、植木班による街路樹剪定作業が行われました。この作業自体はいつものことですが、この日は特別に作業のビデオ撮影が実施されました。宇部市SC視察訪問(1面参照)への資料作成の一環です。

道路脇の駐車場広場に植木4班総勢25名が集結。榎本、大倉両班長の指揮のもと、安全確認の朝礼と入念な準備体操を済ませ、組に分かれて剪定に取りか

かります。折から通勤の歩行者や自転車がよく通ります。すると必ず、見張り役が「歩行者ありまーす」「自転車通りまーす」と順次声をかけ合います。

この様子を飯森安全管理副委員長と応援力メラマンの酒井格さん(程久保班)が、しっかりとビデオに収めました。

安全就業ビデオ上映 安全管理委員会が自前で製作

安全管理委員会ではこのほど安全就業に関する独自のビデオを製作、宇部市SC代表の研修訪問時に上映しました。

内容は当センターの紹介に始まり、安全管理委員会の会議の様、自動車運転ライセンス講習会やC式運転適性検査、植木班の作業現場等を通して安全就業の取り組みを訴えています。

ビデオは伊藤安全管理委員長が発案・企画し、飯森副委員長、酒井氏が撮影、編集しました。上映時間は約15分。

平成20年度の当センター事故発生状況

発生日時・当事者	仕事内容	事故の種類・状況	
8/ 4 AM 74歳 女性	就業途上	傷害	自転車転倒、胸打撲
8/19 AM 72歳 男性	自転車整理	傷害	熱中症で病院搬送
9/17 PM 67歳 男性	公園管理	賠償	草刈りで市民に傷害
9/18 AM 69歳 男性	補助作業	賠償	商品を運搬中に破損
10/15 PM 66歳 男性	幼稚園用務	傷害	剪定中脚立から落下
11/ 6 AM 74歳 男性	自転車整理	賠償	バイクの泥除け破損
12/24 AM 70歳 男性	就業途上	傷害	駐輪場で躓き転倒

平成20年度事故7件に

ミーティングで安全確認を
昨年未になたな傷害事故が発生、今年度の事故件数は計7件に達し(別表参照)、前年度を2件も上回りました。事故を起こさない最良の対策は、事故情報の徹底とともに、各職場でミーティングをおこない、安全確認をはかることです、ぜひ実施を!

お元気ですか

私のふるさとは讃岐(香川県)。さぬきといえは、すぐうどんを連想する人が多いと思う。

しかし今の時期、昔懐かしい食べ物といえはお雑煮だろう。お雑煮の主役はお餅。私の子供の頃、正月といえは家族一緒にお餅をついて食べるのが楽しみだった。

ふるさとのお餅は切り餅でなく丸餅。この中に餡を入れ、大福のようにする。この餅をお雑煮として食べるのだ。甘い白味噌汁に餡餅が入ったお雑煮。大根、人参など野菜と一緒に食べると味噌と相性がよくたいへんに美味しい。お汁粉のようでもあり、おみそ汁のようでもあり複雑な味。ふるさとの味である。

今年、久しぶりにこのお雑煮を食べた。新橋駅の近くの「せとうち旬彩館」で、正月限定のメニューがあることを家内から聞き出かけた。丁度隣に座った老夫婦、この方達もこれを目当てに来られたようだ。

ふるさとを思い、感謝しながら食べた一杯である。

(今村 優)